

四日市大学 生物学研究所

プランクトン通信

No. 1 (予告版) 2015年3月発行

プランクトンとは、水中で浮遊生活する生き物たちのことです。

四日市大学環境情報学部と生物学研究所では、北勢地域を中心にプランクトン調査を行っています。この地域にはダム貯水池をはじめ、多くの溜池がつくられており、貴重な干潟も存在します。

「プランクトン通信」では、北勢地域の水環境やプランクトンの調査結果などについて皆さんにお知らせします。身近な環境の様子や、そこに棲む生き物たちについて関心を持って下されれば幸いです。

今回は伊坂貯水池（四日市市伊坂町、図1）でみられるプランクトンを紹介します。

伊坂貯水池では、夏（高水温）になるとアオコがよく発生します。アオコとは、ミクロキスチス (*Microcystis*) という藍藻類の一種です。

これが大量に発生すると、水面にペンキを流したような青緑色の膜をつくります。この現象が『水の華』です。プールや水槽の水が緑色になることがありますが、『水の華』とは違います。『水の華』は図2のように表面に浮いています。

『水の華』をつくるアオコは、小さな細胞が集まって群体を形成しています（図3）。



図1 伊坂貯水池

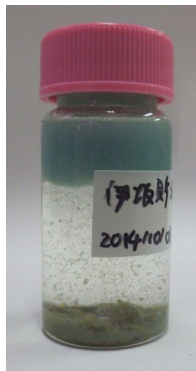


図2 伊坂貯水池で採集した水

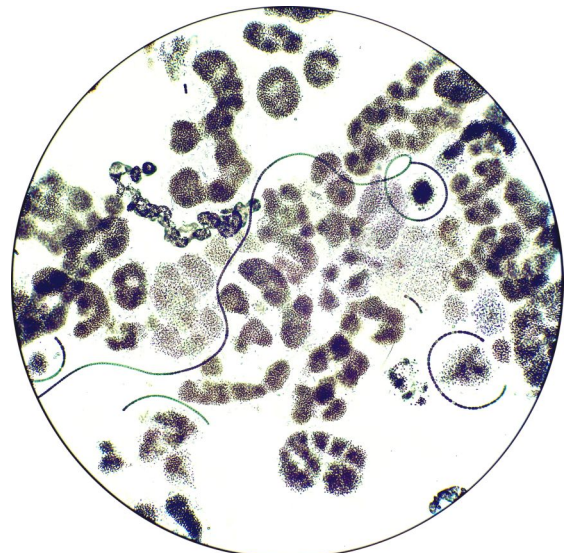


図3 100倍の顕微鏡でみたアオコ